

[様式 2]

杉並区立 中学校

平成 3 1 ・ 令和元年度 卓球 部の活動方針・活動計画

令和元年 5 月 7 日

1 指導体制

顧問教諭等氏名		外部指導者氏名	資格等や経験	頻度
顧問	岡本匡史			
顧問				
顧問				

2 部員数 1 年生 1 0 人 2 年生 4 人 3 年生 9 人 合計 2 3 人
(令和元年 5 月現在)

	男	女	合計
1 年	9 人	1 人	1 0 人
2 年	2 人	2 人	4 人
3 年	5 人	4 人	9 人
合計	1 6 人	7 人	2 3 人

3 年間目標

- (1) 自分自身の成長を追求するとともに、互いの成長を支え合い、共に成長する
- (2) 都大会に出場する

4 活動方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
各自の課題に向き合い、時間と場所に応じて集中して練習する。
- (2) 練習や試合等の計画
月に 2 回程度、部活動活性化を利用し、専門的な技術指導を受ける
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
自ら挨拶をする、場に応じた言葉遣いで話すといったことができるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

5 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により

問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

6 活動計画

(1) 活動日：月・火・水・金曜日

(月に2日程度、部活動活性化を土、日曜日に実施)

(2) 活動時間： 平日 16:00～18:10 (冬季は18:00まで)

(3) 休養日：木・土・日曜日

(4) 年間活動予定

学 期	月	内 容
1 学期	4	活動紹介 杉並区春季大会
	5	部活動保護者会 (指導方針等を説明)
	7	杉並区選手権大会
	8	東京都選手権大会
2 学期	9	小学生部活動体験
	10	杉並区新人大会
	12	東京都新人大会
3 学期	1	杉並区研修大会
	3	3年生を送る会

(5) 参加予定大会

公式戦：春季大会、選手権大会、新人大会、研修大会

【記入例】

[様式 2]

杉並区立 中学校
平成〇〇年度 〇〇〇部の活動方針・活動計画

平成〇〇年〇月〇日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	日本サッカー協会 公認C級	週4日
副顧問	〇〇〇〇〇〇 (部活動指導員)	〇〇〇〇〇〇	高校サッカー部 コーチ	月1回
副顧問	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇		

※部活動指導員は顧問欄に記載し、その旨を表示する。

2 部員数

(平成〇年〇月現在)

	男	女	合計
1年	5	6	11
2年	4	3	7
3年	8	4	12
合計	17	13	30

3 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
都大会出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域交流を積極的に図るため、年間3回、部員が地域ボランティアに参加する。

4 活動方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
月に1回程度、競技力を高めるため他校と練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

※ 5(1)から(3)までの3項目は、必ず記載する。
(外部指導員の活用がない場合はその旨を記載する)

5 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(5) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

6 活動計画

(1) 活動日：月・火・木・金・土曜日

教育委員会の指針に則り設定します。
活動時間、休養日についても同様です。

(2) 活動時間： 平日 16:00～18:00 (2時間)

休日 9:00～12:00 (3時間)

(3) 休養日：水・日曜日

(ただし日曜日が大会の時は月曜日を休養日とする)

(4) 年間活動予定

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 地区大会予選
	5	部活動保護者会 (指導方針等を説明) 小学校運動会ボランティア参加
	6	都大会予選
	7	夏季強化練習
	8	小学生部活動体験
2 学期	9	地域祭りボランティア参加
	10	新人大会予選
	11	〇〇杯参加
	12	冬季休業中 練習及び練習試合 基礎体力強化練習
3 学期	1	地区大会
	2	地域清掃ボランティア参加
	3	部活動保護者会 (年間の活動の振り返りと次年度への反映) 春季休業中 練習及び練習試合

(5) 参加予定大会

公式戦：春季大会、夏季大会、新人大会

その他：市民大会、冬季強化大会、〇〇杯、